

老人クラブについて

令和7年4月13日

一宮市老人クラブ連合会

会長 平子昌三(千秋)

クラブ、会員

(全国)

令和2年度全国では89500クラブ470万会員。過去5年間で15%減少。

(愛知県)

愛知県老人クラブは昭和40年に任意団体として発足。(クラブ数、会員数不明)

昭和61年6600クラブ44万人の会員。自主財源を目指して基金5億円目指して寄付金拠出。

平成7年に名古屋市と分離。 県下⁵³37市町・・令和5年度³¹⁶⁹2750クラブ、~~185000~~²¹⁰³⁹⁹人会員。

令和5年度一宮299クラブ16731人。豊田171ク、17514人。岡崎197ク、16064人。

(一宮)

昭和50年222クラブ、14600人毎年増加。平成17年まで430クラブ、34100人へ増加。

一宮市老連は平成18年(尾西・木曾川合併)時561クラブ42000人会員過去最大。が
平成19年～毎年減少、(5%から9%)令和4年コロナの時は最大72ク、4600人減少(18%)
最大値より令和6年度279クラブ(50%減)14917人会員(35%)に減少

このペースで減少すると今後10年前後には「ゼロ」になる。

老人は増えているのにクラブ数、老人会員の減少は全国同じレベルだろう。

背景

- ①全国的にクラブ数、会員数減少。クラブ長のなり手、無。(ボランティア、領収書)
- ②会員であるメリット、クラブの必要性、なくても困らない(退会、解散)多様性
- ③新規加入60才、65才、は無理。老人会に対し市の熱意、関わり、関心度低い。
- ④今後も市老連は毎年20クラブ、1000人減少しそう。

市老連の経営状況

1. 市老連は700～800万程での収入、支出で運営。6年度赤字予測。
2. 収入は会員1人72円(平成12年～変更なし)単位クラブ負担金9500円
3年度、5年度の2回市の高年福祉課へ補助金見直しを申し入れるもかなわず。
3. 支出は毎年同じ行事実施。6年度赤字になりそう。
4. 7年度支出削減(7年度分)として下記を決定(6年12月理事会)
5. 県老連のスポーツ大会不参加(17万円)、理事交通費補助(12万円)、シニア交流事業補助金(44万円)、研修旅行費補助(15万円)、グランドゴルフ大会中止(6万円)、その他10万円。

近いうちに各連合会が独自にそれぞれやれる範囲での活動に移行かも。

今後

各地でサロン活動が多くなってきた。全体でやるよりサロン形式の小規模の活動にシフトすることを検討したい。